

自治研 センターニュース

1986. 1. 15

No. 39

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

教研集会

川崎市教育研究集会開催の案内

川崎市教育研究集会は、川崎市教職員組合が主催し教育委員会の理解と協力を得るなかで開催し、今年度で35年目をむかえました。

地方自治研究センターは、この研究集会を教育に対する研究や学習の場とするために後援をします。

今、国段階では、臨時教育審議会が教育改革にむけての審議がすすめられています。また、川崎市においては、2年間にわたって「川崎市教育推進事業」を推進しており、その中で「教育市民討議」や「教育懇談会」での川崎の教育のあり方を論じています。

非行・いじめ等、子どもを持つ親にとって教育は大きな関心事であるとともに、働く者にとっても、未来の川崎を担う子どもたちの教育は重要な視点です。多くの地方自治研の会員の参加を要請したいと思います。

- ◆ 日時・会場 2月12日(木) 全体会、中原市民会館 1:30~4:00
2月13日(木) 分科会、市立川崎高校 1:30~4:00

◆ 内 容

全体会 講演 「地域から学校からの教育改革を」
——子ども・地域に開かれた学校づくり——

講師 海老原治善氏（東京学芸大学教授）

- 分科会
- ・生活指導
 - ・学習と評価
 - ・障害児教育
 - ・幼年期の教育
 - ・進路指導と入試制度
 - ・人権と民族
 - ・平和教育
 - ・職場の民主化問題
 - ・地域住民との提携
 - ・教育条件整備
 - ・環境問題と教育
 - ・現代文化と教育

以上の外に国語、算数等教科の分科会も開催されます。

- ◆ 参 加 地方自治研の団体・個人等会員の誰でも自由に参加できます。

講演会

来年度政府予算案の解剖

昭和61年度政府予算案をめぐる議論が活発に展開されています。

いうまでもなく毎年度の国家予算はあらゆる人びとの生活に深くかかわるものです。私たち市民は予算の内容をはっきりと知るよう努めるとともに、これについて自らの見解をもって積極的に然るべき取りくみをおこなう必要があります。

この予算案はどのような性格をもつもののでしょうか。それは現在の国際関係および国内政局にどのように関連しているのか、戦後の財政史のなかでどのような位置を占めているのか、どのような歴史的ビジョンのもとに編成されているのか、市民が当面している社会的諸問題にどのように対応する内容をもつのか、地方自治の視点からすればどのような性格をもつのか——こうした疑問を解く機会として、自治研センターは下記のような定例講演会を企画しました。講師には、財政問題の気鋭の研究者である渡辺精一氏（神奈川大学教授）をお迎えすることができました。

講演会では、質疑の時間もとってありますので、多くの方が論議に参加されるよう期待されます。どなたもふるって御参集ください。

記

日 時 1月30日(木) 午後3時~5時

会 場 川崎市労連会館5階講堂

テ ー マ 昭和61年政府予算案の解剖

——その基本的性格と地方自治——

講 師 渡辺精一氏・神奈川大学教授

- この講演会の要旨は本ニュース次号に掲載される予定です。

海外研修

研修成果報告書完成

川崎市職員の海外派遣研修（第二部）の昭和60年度研修生は、昨年10月に1カ月間の研修を無事終了し、いま研修報告の作成に全力を傾けています。

今期研修は、応募者の枠が従来より拡大されて、交通・水道・消防部門の職員にも門

回 覧

戸が開かれたうえ、研修地も従前のヨーロッパのほかには北米が加えられました。

60年度研修生に選ばれた10名のうち、7名が西ヨーロッパ、3名が北米に派遣されました。

派遣生の研修成果は、日誌および報告書にまとめられます。研修旅行の様子を語る日誌は、自治研センターの協力のもとに今年度中に公刊されることになっています。

日誌の閲覧等についてのお問い合わせは、自治研センター・佐藤研究員までお申し出ください。

研究会

自治研センター主催定例研究会が下記の通り開催されます。友人・知人とお誘いあわせのうえ御気軽に御参加ください。

この研究会は、毎月1回、最終月曜日に開かれる「知的解放区」の楽しい語らいの場です。ホットな時局的話題、人間の永遠のテーマ、市民生活の諸問題、行政の課題、職場や家庭の状況、国際関係の動向など毎回ひとつのテーマや題材本をとりあげ、参加者が自由な立場で大いに議論する会合です。

参加者やその友人・知人のなかで日頃から或るテーマや課題に取り組み研究されている方の成果を発表していただく機会も設けられています。

記

日 時 1月27日(月) 午後6時～8時

会 場 川崎市労連会館4階会議室(電話 211-0003)

対 象 本 松井やより著『魂にふれるアジア』(朝日新聞社刊、定価1,200円)

司 会 佐藤・自治研センター専任研究員

- 「アジアで出会った数多くの人々の美しい生き方を伝えようとしても、経済的繁栄に飽食している日本ではなかなか受けとめてもらえない。そのズレを埋めなければと、新聞以外のメディアにも書き送った。こうして『朝日ジャーナル』に82年8月から85年5月まで連載した“特派員リレーエッセー”を中心に、アジアの女たちの会の機関誌『アジアと女性解放』に書いたものを加え、加筆、再構成したのがこの一冊である。」

「アジアの民衆が直面しているさまざまな問題——農村の貧困、都市のスラム、輸出加工区、多国籍企業、プランテーション、人力輸出、売春、児童労働、人口爆発、言論弾圧、人権問題、伝統宗教、人種対立、戦争の傷跡など、インドシナ三国を含め、アジア全域を駆けめぐって、女性特派員の目で現場取材したレポー

トである。これは私がふれたアジアのほんの一部に過ぎないけれども。」(著書の「あとがき」より)。

- 次回2月24日(月)には、ジャーナリスト自身の手になる2つの著書(小森・近藤共著『国際報道の現場から』、中公新書480円。倉田著『スクープ』、現代新書480円)を題材本にして、国際ニュースの質と諸問題について考えてゆきます。

題材本は自治研センターでも入手できますので、御希望の方はお早めにその旨お申し越してください(自治研センター、電話 244-7610)。

読書会

自治研究センター主催「現代文学を読む」会が下記の通り開かれます。どなたにも開かれた雰囲気のできるので、題材本に興味をもつ方、現代文学に関心のある方はふるって御参集ください。

記

日 時 2月17日(月) 午後6時～8時

会 場 川崎市労連会館4階会議室(電話 211-0003)

題 材 本 真継伸彦著『鮫』(河出文庫380円)

講 師 酒井成美氏(『デルタ』同人)

- 「越前・三国湊近くの海辺に非人の子として生まれ、〈鮫〉と呼ばれて飢えと差別のなかで育った若者は、母の死を契機に京に上る。時は中世、応仁の乱たけなわの頃であった。人肉を食らい犯した女を殺し悪逆の限りをつくして生きる〈鮫〉の前に現れた蓮如上人の娘・見玉尼——宗教と政治の相克を通して、人間の極限を描き、萬屋錦之介らの主演で東映より映画化された文芸賞受賞の力作長編」(本書カバー文より)。
- 題材本『鮫』は自治研センターで一括購入してありますので、御希望の方はお早目にお申し越してください(電話 244-7610)。
- なお次回は3月17日(月)に開催され、向田邦子著『阿修羅のごとく』をとりあげる予定です。

自治研 センターニュース

1986. 2. 24

No. 40

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044(244)7610

英会話講座特集号

英会話講座新規受講者募集

自治研センターでは昨年6月より英会話講座を開講しています。多くの職員および市民の方から、職務のためあるいは海外との交信・交流のため、国際的コミュニケーションの手段としての英会話を修得したい、との要望がよせられていましたが、こうした要望に応じて開講したものです。

講座は好評を博し、講座増設の声が寄せられています。自治研センターではかねてから新しい講座の設置と講座内容の充実を検討しておりましたが、このたび、川崎市と姉妹都市ボルチモアとの交換研究員として来川され、市内の公立学校で教鞭をとっておられるマイヤー先生とダブロフスキー先生の御協力を得ることができました。

現在開講中の2つの講座は3月をもって一応終了とし、4月からは下記の4講座を設置するはこびとなりました。4講座は英会話を学びたい意欲をもつすべての人に開かれた講座ですので、どなたもふるって御参加ください。

各講座とも定員は15名で、先着順に受け付けし、定員になり次第締め切られます。受講料は各講座とも月額4,000円(テキスト代含む)で、全額前納制とします。

記

第一講座 (4月～9月) (受講料24,000円)

日時 毎週木曜日、午後6時～7時30分

会場 市労連会館4階会議室

講師 中原照代先生

内容 まったく初めて英会話を習ってみたい人を対象とします。英語の基本的な文法知識を十分に会得していない方もこの講座には参加できます。昨年12月から本年3月まで開講された講座の継続講座となりますが、新規参加者も受講できます。テキストは、『田崎英会話練習帳』(初級)(大修館書店刊)を使用します。

第二講座 (4月～9月) (受講料24,000円)

日時 毎週水曜日、午後6時～7時30分

会場 市労連会館4階会議室

講師 中原照代先生

内容 第一講座より一歩すすんだ語学力の水準が前提とされる講座です。NHKラジオ英会話のテキストを用いて会話を養い、また随時、英字新聞の講読等もおこないます。

第三講座 (4月～6月) (受講料12,000円)

日時 毎週水曜日、午後6時～7時30分

会場 川崎教職員会館(住所: 中原区下沼部1709-4 最寄駅: 向河原駅)

講師 ミータ・P・マイヤー先生

内容 初級英会話を内容としますが、授業はすべて英語でおこなわれます。受講者は英会話修得の経験は問われませんが、中学終了程度の語学力をそなえている必要があります。

第四講座 (4月～6月) (受講料12,000円)

日時 毎週火曜日、午後6時～7時30分

会場 市労連会館4階会議室

講師 ジョン・J・ダブロフスキー先生

内容 第三講座に同じ

以上

- 上記英会話講座受講を御希望の方は、社団法人・川崎地方自治研究センター(電話、244-7610)英会話講座係まで御連絡ください。受付時間は、月曜～金曜まで、午前9時～12時および午後1時～5時です。
- 受講申込受付は3月10日(月)から開始されます。
- 電話申込みにより受講登録された方は、自治研センターより、別途申込書が送付されますので、必要事項を記入して、自治研センター(〒210 川崎市富士見2-5-2 労働会館5階)まで送付してください。
- 各講座の授業は4月の第1週から開始されます。受講料は授業開始日の授業前に一括納入していただきます。

川崎市教育研究集会

多数の参加で成功裡に閉会

本ニュース第39号でお知らせ致しました、第35次川崎市教育研究集会は、川崎市教職員組合主催、川崎地方自治研究センター後援のもとに、2月12日、中原会館において全体会を、13日、市立川崎高校において分科会が開かれました。

第1日目の「全体集会」では、森山川教組執行委員長挨拶の後、岩淵自治研センター理事長より、「自治研センター」の設立の意義や活動の紹介を含めての挨拶がありました。「自治研センター」が後援することにより、とかく教職員組合だけのものになりがちだった「教研集会」が、私たちの会員を中心とした働く仲間や市民に、ひろく拡大されていく第一歩をふみだしたと言えます。

記念講演 「地域から学校からの教育改革を」

— 子ども・地域に開かれた学校づくり —

講師 海老原 治善氏（学芸大学教授）

「基調報告」、「川崎教育文化研究所（主任手当拠出金で運営されている）活動報告」の後、記念講演がありました。

この講演のなかで、海老原氏は「現代の学校というものが、さまざまな角度からこれで良いのだろうか、本質的に問われている。それに対して、教育にたずさわっている私たちには、どう応えていくのかという重い責任があるのではないか」と話を始められました。そして、国のあゆむ方向をかえていこうとしている「臨調・行革」路線の本質や、1月22日に「臨時教育審議会」より発表された「審議経過の概要（その3）」について、具体的に教育現場と対応させながら話されました。その問題点として、教育基本法第1条（教育の目的）をねじ曲げようとしていること、大学入学資格の弾力化によるスーパーエリートの育成をめざしていること、教職員の資質向上に名をかりた教職員に対する管理の強化を企図していること等々をあげられました。又、地域の組織労働者や市民と学校教育とのかかわり方を川崎の革新市政のなかでどう確立していくのか、「川崎の教育を考える市民会議」による“小学校区集会”などの行政を中心とした取り組みも評価しながら、「川崎の長い教組運動の歴史のなかでつちかわれた地域とともにのびていく基本姿勢を堅持しながら、都市型の市民的教育改革を、目に見えるかたちで全国に先がけて提示して欲しい」と、呼びかけられました。

分科会助言者として、中村・佐藤両専任研究員が活躍

2日目の「分科会」は、“国語教育”など11の教科教育に関するものと“生活指

導”など14の問題別分科会の計25分科会が開催されました。

そのなかで、「外国語（英語）」教育で佐藤専任研究員、「PTAの民主化・地域住民との提携」分科会で中村専任研究員が助言者として招かれ、その発言や助言は、教職員組合の教育研究に対する新たな示唆を与えるものとして、参加者の共感を得ました。

国際平和年のなかで、「平和教育」のさらなる定着を

川崎教組の「川崎空襲の日（4月15日）」を中心とする学校での取りくみ、教育文化研究所主催の平和をテーマとした親子映画会の実施、学童疎開40周年事業への積極的参加、平和教育に役だつ諸資料の作成と配布等々の運動の成果として、川崎の「平和教育」が大きな前進と定着をみせていることが確認をされました。なお、5年前はレポートが1本でしたが、本年度は25本の実践に基づくレポートが報告されました。

2日間にわたる「教研集会」は、児童・生徒の生活などについても熱のこもった論議がされ、のべ1,074名の参加を得ることができました。しかし、「自治研センター」に加盟している川崎教組以外の団体からの参加は、まだまだ少数です。川崎の教育が地域に根ざし、平和を守り真実をつらぬく民主教育として確立されるために、今後、多数の皆さんの参加が期待されます。

講演会

ハイテク社会の行方

自治研センター主催の月例講演会を下記の通り開催致します。

今回のテーマは、「ハイテク社会の光と影」というものです。

現代社会においては、めざましい科学技術の発達の影響が人間生活のあらゆる面に深く浸透しています。わたしたちの職場、地域、家庭も科学技術の発達に大きく影響されざるをえなくなっています。ハイテク社会、高度情報化社会と呼ばれる所以です。

わたしたちは、ハイテク社会、高度情報化社会とよばれる現代が歴史的にどのような位置にあるのかを認識するとともに、そうした社会が人間生活にとってどのような根源的問題を孕んでいるかを見極めておく必要があります。

今回はこうした問題分野に造詣が深い田中公雄氏をお招きしてお話を伺います。関心をおもちの方は友人・知人とお誘いあわせのうえ御出席ください。

記

自治研 センターニュース

1986. 3. 15

No. 41

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044(244)7610

海外研修

海外研修を考えるシンポジウム開催

川崎市職員海外派遣(第2部)は当自治研センターの協力のもとに昭和58年度より開始され、すでに3度の経験を積み重ねるにいたりました。61年度派遣生の募集も近いうちに実施される予定となっています。

例年、募集開始にともない多くの応募希望者から各種の問い合わせが寄せられますため、この派遣制度の主旨および内容にかんするオリエンテーションの実施が各方面から要望されておりました。

このたび川崎市により海外派遣研修の成果活用の一環として「海外派遣研修シンポジウム」が企画されましたため、当自治研センターはこれに全面的に協力することになりました。

このシンポジウムは3月31日(月)に川崎市職員研修所で開催されます。ここでは、海外研修制度概要についての説明がなされ、海外派遣生の体験報告がおこなわれるとともに、海外研修そのものの文化的意味およびその今日的課題をめぐっての馬場康雄氏(東京大学助教授)の講演もあります。海外研修制度に関心のある方、海外研修に応募を希望される方は是非ともこの機会を利用して、研修にたいする理解を深められるようお誘い致します。

また当日は、海外研修経験者の手によるアドバイスコーナー、英会話講師・瀬崎先生による英会話アドバイスコーナーも設置されます。希望者は御気軽に御参加ください。

以下、シンポジウムの概略を掲げます。詳細は自治研センターまでお問い合わせください。

記

川崎市海外派遣研修シンポジウム

主催 川崎市

実施 社団法人・川崎地方自治研究センター

日時 3月31日(月) AM10:00~PM5:00

回覧

場所 川崎市職員研修所
テーマ 明日の川崎を海外に学ぶ
内容 基調講演：馬場康雄(東京大学法学部助教授)
体験報告：派遣研修生代表
シンポジウム：馬場康雄氏、瀬崎絹子氏 他
その他、資料展示コーナー、アドバイスコナー等が設置される。

以上

海外研修

61年度派遣生募集開始

昭和61年度川崎市海外派遣研修(第2部)実施要領がこのほど発表されました。

この海外研修制度は58年の創設以来、そのユニークさのゆえに各方面から注目されてきました。この制度のもとにすでに3期にわたって25名の若手職員が研修を積み重ね、市行政の各分野でその研修成果が活用されています。

海外研修にたいする職員の関心も着実に高まっており、制度の拡充が期待されています。当自治研センターはこの制度の創設およびその運営に関与し、その充実に協力してきましたが、さらにその質の向上に寄与する方針を立てています。

このたび61年度派遣生の募集要領が公表されましたので、ここにその概要をお伝えします。意欲ある職員の応募が待ち望まれます。募集にかんする問い合わせは自治研センターでも受け付けております。

記

対象 45歳以下(勤続5年以上)の主任または一般職員

提出論文 テーマ自由。B4判400字詰原稿用紙10枚以内(横書)。

複写分5部添付のこと。

締切 1986年4月18日(金)

審査 篠原一氏(東京大学教授)を委員長とする選考委員会。

派遣方法 原則として単独派遣。

派遣先 ヨーロッパまたは北米の各都市(パリ、ロンドン、ボルチモアは指定)。

派遣期間 1986年10月中(2週間~1カ月)。

問合せ先 社団法人・川崎地方自治研究センター(電話244-7610)

川崎市職員研修所(電話555-3111、内線309)

以上

日時 4月9日(水) 午後3時～5時
会場 市労連会館5階講堂
テーマ ハイテク社会の光と影 ― その問題性の行方 ―
講師 田中公雄氏(東京都都市計画局総合計画部副参事)

- 自治研センター主催・月例講演会の1月例会(渡辺精一氏「61年度政府予算の解剖」)、2月例会(石川好氏「アメリカの地方自治―その制度と精神」)の講演要旨は近く当センターの手でまとめられます。当センター会員のうち希望者には無料配布されますので、御希望の向きはセンター事務局までお申込みください。

読書会

自治研センター主催の「現代文学を読む」会の定例会を下記の通り開催致します。題材本に関心をおもちの方は御気軽に御参加ください。

記

日時 3月17日(月) 午後6時～7時半
会場 川崎市労連会館4階会議室(電話211-0003)
題材本 向田邦子著『阿修羅のごとく』(新潮文庫、草294-3、520円)

- 阿修羅。三面六臂を有するインドの魔族。猜疑心強く互いに事実を曲げ、他人の悪口を言いあう……。妻子ある男を愛人に持つ長女、夫の浮気に悩む次女、オールドミスで潔癖性の三女、売れないボクサーと同棲中の四女。阿修羅のイメージにのせて、四人姉妹のそれぞれの人生を、繊細に、辛辣に、そして限りなく温かく描き出す、哀しくも愛すべき物語。著者のシナリオにおける代表的作品。
- 次回は4月14日(月)に開催され、半村良著『雨やどり』(文春文庫、No.163-6 320円)を題材としてとりあげます。
- 題材本は自治研センターで一割引にて購入してありますので、希望者はお申越してください。

研究会

自治研センター主催の3月定例会を下記の通り開催致します。研究会はどなたにも開かれた会合です。友人・知人とお誘い合わせのうえ、ふるって御参集ください。

テキストは自治研センターで一括購入してありますので、御希望の方はセンターにお問い合わせください。

記

日時 3月24日(月) 午後6時～8時
会場 川崎市労連会館4階会議室(電話211-0003)
テキスト ①博報堂生活総合研究所編『“分衆”の誕生』(日本経済新聞社刊、1200円) ②青木茂著『中流の上の生活法』(中公文庫、M281、380円)

- 今回も前回と同様、2冊をテキストとして用いますが、時間の余裕のない方は、どちらか1冊をお読みのうえ気軽に御参加ください。
- 次回は4月21日(月)に開催します。テーマは「韓国社会の現況」とし、テキストとしては、長谷川慶太郎著『挑戦する韓国』(光文社<カッパ・ビジネス>、680円)および小室直樹著『韓国の悲劇』(光文社<カッパ・ビジネス>、680円)を用います。

テキストは当自治研センターで定価の一割引にて一括購入できますので、希望者は早目にお申越してください。

参加希望者で時間の都合のつかない方は、上記テキストのうち1冊を読了のうえ御参集ください。

英語会話講座

本ニュース前号でお知らせしました通り、自治研センター主催の英会話講座が4月から4講座スタートします。

4講座のうち2講座は昨年設置されたものですが、他の2講座は、川崎市・ボルチモア市交換教員2氏の御協力を得て新設されたものです。

受講応募は3月10日からはじまり、すでにほぼ定員に近い応募がよせられています。御希望の方は自治研センター・英会話講座係までお問い合わせください。

なお講座は4月第1週から開始されます。

自治研 センターニュース

1986. 4. 25

No. 42

発行責任者 深堀義孝
川崎地方自治研究センター
電話 044(244)7610

講演会

アジアの「貧しさ」の構造と私たちの生活

自治研センター主催の定例講演会を下記の通り開催致します。

今回はアジアの問題をとりあげます。先般のフィリピンにおける政変およびその後のいわゆるマルコス疑惑から明らかなように、日本はアジアとくに東南アジア諸国の政治・経済に著しく大きな影響力をもっています。私たちは日本人の日常生活も東南アジア諸国と深い結びつきをもっていますが、ともするとそうしたむすびつきは不可視的なものになりがちです。

今回は、アジア研究家の鶴見良行氏をお招きし、アジア諸国の人々との生活の実情をお話しいただくとともに、私たちがアジアの問題を考える場合の視点、留意点といったことを教えていただく企画を立てました。

この問題に関心を抱く多くの方が参加されますようご案内致します。

記

日時 5月13日(火) 午後3時～5時

場所 川崎市労連会館5階講堂

テーマ アジアの「貧しさ」の構造

—— 日本の責任を考える

講師 鶴見良行氏(アジア研究家)

講師紹介

1926年 ロスアンゼルスに生まれる

1952年 東京大学法学部卒業

現在 アジア太平洋資料センター理事

主な著書 『アジア人と日本人』(晶文社)

『アジアを知るために』(筑摩書房)

『アジアはなぜ貧しいか』(朝日新聞社)

『バナナと日本人』(岩波書店)

読書会

自治研センター主催の「現代文学を読む」会を下記の通り開催致します。この会は、毎月1回、現代文学の1冊をとりあげ、楽しく語らう集いです。どなたでも参加できます。ご希望の方は、対象本をお読みのうえご出席ください。

記

日時 5月19日(月) 午後6時～8時

会場 いさご会館3階「千鳥」

(川崎駅下車・徒歩5分・電話211-5781)

対象本 A・ウォーカー著『カラーパープル』(集英社文庫、No.62-A、¥480)

- 「16歳の黒人娘セリーは、名も知らないミスターのもとへ嫁がされ、夫の暴力の下で毎日を耐えていた。愛する妹も夫に襲われ、彼女は失意のまま、アフリカへ渡った……。黒人社会の中に巻き起こる差別、暴力、神、性といったすべての問題にたち向かい、やがては妹との再会を信じ、不屈の精神を糧にするセリー。女の自由を血と涙で獲得しようとする女性を描く愛と感動のセンセーショナル・ノベル。ピューリッツァ賞、全国図書賞受賞」(本書カバー文より)。
- 次回6月16日(予定)の読書会では、長部日出雄著『未完反語派』(福武文庫¥500)をとりあげる予定です。
- 題材本『カラーパープル』、『未完反語派』は当センターで一括購入致しますので、ご希望の向きはセンターまでご連絡ください。

研究会

自治研センター主催の定例研究会を下記の通り開催致します。この研究会はどなたにも開かれた、自由な話し合いの場です。友人・知人とお誘いあわせのうえ、お気軽にご参集ください。

記

日時 5月26日(月) 午後6時～8時

場所 いさご会館3階「千鳥」

(川崎駅下車・徒歩5分・電話211-5781)

題材本 E・F・シューマッハー著『スモール・イズ・ビューティフル』(講談社学術文庫、No.730、¥980)

- 「1973年、シューマッハーが本書で警告した石油危機はたちまち現実のものとなり、本書は一躍世界のベストセラーに、そして彼は“現代の予言者”となった。現代文明の根底にある物質至上主義と科学技術の巨大信仰を痛撃しながら、体制を超えた産業社会の病根を抉ったその内容から、いまや“スモール・イズ・ビューティ

フル”は真に新しい人間社会への道を探る人びとの合い言葉になっている」(本書のカバー文より)。

- 次回6月30日(予定)のテキストとしては、新地書房刊『21世紀への思索』(宮崎義一・篠原一・平田清明・中山茂、4氏の討論)を予定しています。
- テキスト『スモール・イズ・ビューティフル』、『21世紀への思索』は当センターで一括購入してありますので、入手希望者はセンターまでご連絡ください。

川崎市教育研究集会

多数の参加で成功裡に閉会

本ニュース第39号でお知らせ致しました、第35次川崎市教育研究集会は、川崎市教職員組合主催、川崎地方自治研究センター後援のもとに、2月12日、中原会館において全体会を、13日、市立川崎高校において分科会が開かれました。

第1日目の「全体集会」では、森山川教組執行委員長挨拶の後、岩淵自治研センター理事長より、「自治研センター」の設立の意義や活動の紹介を含めての挨拶がありました。「自治研センター」が後援することにより、とかく教職員組合だけのものになりがちだった「教研集会」が、私たちの会員を中心とした働く仲間や市民に、ひろく拡大されていく第一歩をふみだしたと言えます。

記念講演 「地域から学校からの教育改革を」

— 子ども・地域に開かれた学校づくり —

講師 海老原 治善氏(学芸大学教授)

「基調報告」、「川崎教育文化研究所(主任手当拠出金で運営されている)活動報告」の後、記念講演がありました。

この講演のなかで、海老原氏は「現代の学校というものが、さまざまな角度からこれで良いのだろうか、本質的に問われている。それに対して、教育にたずさわっている私たちには、どう応えていくのかという重い責任があるのではないか」と話を始められました。そして、国のあゆむ方向をかえていこうとしている「臨調・行革」路線の本質や、1月22日に「臨時教育審議会」より発表された「審議経過の概要(その3)」について、具体的に教育現場と対応させながら話されました。その問題点として、教育基本法第1条(教育の目的)をねじ曲げようとしていること、大学入学資格の弾力化によるスーパーエリートの育成をめざしていること、教職員の資質向上に名をかりた教職員に対する管理の強化を企図していること等々をあげられました。又、地域の組織労働者や市民と学校教育とのかかわり方を川崎の革新市政のなかでどう確

立していくのか、「川崎の教育を考える市民会議」による“小学校区集会”などの行政を中心とした取り組みも評価しながら、「川崎の長い教組運動の歴史のなかでつちかわれた地域とともにのびていく基本姿勢を堅持しながら、都市型の市民的教育改革を、目に見えるかたちで全国に先がけて提示して欲しい」と、呼びかけられました。

分科会助言者として、中村・佐藤両専任研究員が活躍

2日目の「分科会」は、“国語教育”など11の教科教育に関するものと“生活指導”など14の問題別分科会の計25分科会が開催されました。

そのなかで、「外国語(英語)」教育で佐藤専任研究員、「PTAの民主化・地域住民との提携」分科会で中村専任研究員が助言者として招かれ、その発言や助言は、教職員組合の教育研究に対する新たな示唆を与えるものとして、参加者の共感を得ました。

国際平和年のなかで、「平和教育」のさらなる定着を

川崎教組の「川崎空襲の日(4月15日)」を中心とする学校での取りくみ、教育文化研究所主催の平和をテーマとした親子映画会の実施、学童疎開40周年事業への積極的参加、平和教育に役だつ諸資料の作成と配布等々の運動の成果として、川崎の「平和教育」が大きな前進と定着をみせていることが確認されました。なお、5年前はレポートが1本でしたが、本年度は25本の実践に基づくレポートが報告されました。

2日間にわたる「教研集会」は、児童・生徒の生活などについても熱のこもった論議がされ、のべ1,074名の参加を得ることができました。しかし、「自治研センター」に加盟している川崎教組以外の団体からの参加は、まだまだ少数です。川崎の教育が地域に根ざし、平和を守り真実をつらぬく民主教育として確立されるために、今後、多数の皆さんの参加が期待されます。

自治研 センターニュース

1986. 5. 25

No. 43

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

講演会

当センターは、内外のめまぐるしい情勢展開、世界の新しい動向、地方自治の諸問題、市民生活の各分野の重要課題等々の理解を深めるため、定期的に講演会を開催しています。すべての市民に開かれた会合ですので、どなたもふるってご参加ください。

記

日時 6月13日(金) 午後3時～5時

会場 川崎市労連会館5階講堂

テーマ 世界の地方自治(その2)

フランスの地方自治——その制度と精神

講師 大山礼子氏(国立国会図書館、調査立法考査局)

● 講師紹介

1954年東京生まれ。1979年一橋大学大学院法学研究科修士課程修了。現在、国立国会図書館調査立法考査局政治行政課副主査。

読書会

当自治研センター主催の読書会(「現代文学を読む」会)を下記の通り開催致します。この会は、講師・酒井氏の選定による題材をとりあげ、参加者がこれをめぐって大いに論じあう会合です。どなたにも開かれた会合ですので、ふるって御参集ください。

記

日時 6月16日(月) 午後6時～8時

会場 いさご会館(第1会議室)

題材 長部日出雄著『未完反語派』(福武文庫、¥500)

講師 酒井成美氏(『デルタ』同人)

● 7月9日読書会は、玉貫寛著『潮の道草』(福武文庫、¥360)をとりあげます。

題材本はセンターで一括購入してありますので、入手御希望の方は、センターまで御連絡ください。

研究会

自治研センター主催の定例研究会を下記の通り開催致します。この会は、時局的テ

マ、ノンフィクション、話題の著作等を取りあげ、自由闊達に議論しあう場です。また個人やグループでさまざまなテーマについて研究・調査を続けている方の成果の発表の場にもなります。

今回と次回は、同じ題材本を用いて討論をおこないます。題材本は自治研センターで一括購入してありますので、御希望の向きは係までお申込みください。

記

日時 6月23日(月) 午後6時～8時

会場 いさご会館(第1会議室)

題材本 『21世紀への思索』(新地書房、¥2,100)(今回は、第1章から第4章までを討論の対象とします。)

司会 佐藤・自治研センター専任研究員

- 次回は7月21日(月)で、同上の題材本の第5章～第7章をとりあげます。

英会話講座

当センターでは、国際化時代のコミュニケーション、人的交流、情報交換の手段のひとつとしてますます重要性をましている英語の修得を目的に、昨年より英会話講座を開講しています。

本年4月にスタートした4講座のうち、2講座は、川崎市の姉妹都市・ボルチモア(アメリカ合衆国メリーランド州)から交換教員として来川されておられるマイヤー先生およびダブロウスキー先生の御好意により運営されております。両先生は7月に帰国されますが、センターでは後任の2先生にもこのような御協力を仰ぎたいと企画を立てております。

受講希望の方は、本ニュースでのお知らせに御期待ください。お問い合わせは、当センター英会話講座係まで(電話 244-7610)。

図書貸出

当センターでは、調査研究の一環として、内外の地方自治の諸問題をはじめとして、政治、経済、社会生活にかんする重要な文献を収集し、これを会員および市民の利用に供しています。

文献利用を御希望の方は、センターまでお問い合わせください。

- 当センターで6月に購入される文献の一部をここに掲載します。

綿貫礼子著『胎児からの黙示』

法学セミナー総合特集『天皇制の現在』

尾上久雄編『経済学で現代を読む』

鶴見良行著『アジアはなぜ貧しいか』

小川他編『アメリカにおける地域的特性と全国的統一』

レームブルッフ他編『現代コーポラティズム』(全2巻)

回覧

自治研 センターニュース

1986. 6. 30

No. 44

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

講演会

7月6日総選挙の分析

衆・参両院同日選挙が迫っています。いうまでもなく、この総選挙は、80年代前半の政治にたいする評価を問うものであり、世紀末のわが国の動向にも大きく影響するものです。70年代末から「民活」を旗印として経済効率主義を優先させてきた政治を是とするかどうか問われる選挙といえます。

同日選挙の結果はどう評価できるでしょうか。その結果は、現実の日本の政党政治の諸問題とどのようにかかわっているのでしょうか。この結果は、今後の政局にいかなる作用をおよぼすでしょうか。

こうした問題を考えるために、自治研センターでは、下記の通り講演会を開催致します。多数の会員、市民が参集され、活発な論議を展開されますよう御案内致します。

記

日時 7月24日(木) 午後3時～5時

会場 市労連会館5階講堂

テーマ 日本の政党政治の現況

——7・6総選挙の結果を分析する——

講師 齊藤 明氏(毎日新聞論説員)

読書会

自治研センター主催の「現代文学を読む会」を下記の要領で開きます。参加希望者は、題材本を読了のうえお気軽に御参集ください。

記

日時 7月15日(火) 午後6時～8時

場所 市労連会館4階会議室

題材本 玉貫 寛著『潮の道草』(福武文庫、360円)

講師 酒井成美氏(『デルタ』同人)

- 本ニュース前号におきまして、当読書会を7月9日に開催すると予告致しましたが、ここに上記の通り訂正致します。

回覧

- 題材本は当センターで一括購入してありますので、希望者はセンターまで申し込みください。

研究会

自治研センター主催の定例研究会を下記の通り開催致します。関心の向きは、知人・友人ともお誘いあわせのうえ、ふるって御参加ください。

記

日時 7月22日(火) 午後6時～8時

会場 市労連会館4階会議室

テキスト 『21世紀への思索』(新地書房刊)

司会 佐藤・自治研センター専任研究員

- 開催日が本ニュース前号予告と異なりますので御留意ください。
- 今回は前回に引き続き同じテキストを使用し、今回は第5章～第7章を主として論議の対象とします。

中国語講座

川崎市の姉妹都市のひとつは中国の瀋陽です。両市の多分野にわたる結びつきは近年ますます深まっており、人的交流も活発化しています。

また、日本と中国の関係においても同様な傾向がみられます。両国間の関係がたんに物の取り引きにおおらずに、人と人の交流、文化の交流に重心をおくようになるためには、相互の言語・歴史・伝統を学びあうことも必要です。

川崎市においても、こうした観点から中国語を学びたいとの声がしばしば聞かれます。当センターでは、このたび東京大学総合文化研究科に留学しておられる区建英氏の御厚意により、中国語講座(初級)を8月から開設することになりました。

詳細は、近刊の本ニュース臨時号にてお知らせ致しますので、関心をおもちの方は御期待ください。

英会話講座

当センターでは、国際化時代のコミュニケーション、人的交流、情報交換の手段のひとつとしてますます重要性をましている英語の修得を目的に、昨年より英会話講座を開設しています。

本年4月にスタートした4講座のうち、2講座は、川崎市の姉妹都市・ボルチモア(アメリカ合衆国メリーランド州)から交換教員として来川されておられるマイヤー先生およびダブrowsキー先生の御好意により運営されております。両先生は7月に帰国されますが、センターでは後任の2先生にもこのような御協力を仰ぎたいと企画を立てております。

受講希望の方は、本ニュース次号でのお知らせに御期待ください。

自治研 センターニュース

1986. 7. 8

No. 45

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

英会話講座特集号

1. 中国語講座

受講生募集開始

当ニュース、第44号でお知らせ致しましたように、自治研センターでは、8月より中国語講座・初級を開講することとなりました。

業務、高用、研究、文通、旅行など、中国語を勉強する動機はさまざまですが、基礎的な知識から身につけたい方のための初級講座を設けました。この機会に是非とも中国語に取りくまれるようお誘い致します。

講師には、東京大学総合文化研究所に留学中の区建英先生をお迎えできました。

希望者は、下記の要領にしたがってお申し込みください。

(記)

日時 毎週水曜日、午後6時～7時30分（開講初日、8月6日(水)）

開講期間 86年8月～87年1月（6ヵ月間）

会場 市労連会館4階会議室

講師 区建英氏（東京大学総合文化研究課）

テキスト 未定

受講料 24,000円、一括納入（1ヵ月、4,000円）

受講定員 15名（先着順受付）

申込・問合せ先 川崎地方自治研究センター へ電話で申し込んで下さい。

電話. 044-244-7610

回 覧

- (1) 講座受講希望者は、社団法人・川崎地方自治研究センター（TEL 244-7610）中国語講座係まで御連絡ください。
- (2) 受講申込受付は、7月14日（月）から開始されます。
- (3) 受付時間は、午前9時～12時、午後1時～5時です。（土曜日は除く）
- (4) 電話申込みにより受講登録された方には当センターより、別途、申込書が送付されますので、必要事項を記入のうえ授業開始日に受講料とともに提出して下さい。

2. 英会話講座

新 講 座 開 始 迫 る

川崎市の姉妹都市ボルチモアからの交換教員2名のご協力による英会話講座は6月をもって終了しました。

M・マイヤー先生、J・ダブロフスキー先生の後任として、キャサリン・ベーカー先生およびブレンダ・カークパトリック先生が来川されましたので自治研センターでは、新任の2人の先生にも英会話講座を担当していただくよう、目下交渉中です。

今月中旬には新講座設置の詳細をお知らせ致しますので、希望者は御期待ください。



自治研 センターニュース

1986. 7. 25

No. 46

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

英会話講座

新規募集案内

すでに恒例となりました自治研センター主催・英会話講座の新規募集を下記の通りおこないます。本ニュース前号で予告しましたように、姉妹都市ボルチモアからの交換教員としてこのたびブレンダ・カークパトリック先生ならびにキャサリン・ベイカー先生が着任されました。自治研センターの要請を快諾された両先生の御厚意により、下記の2講座を開設致します。御希望の方は、規定をよくお読みのうえ、自治研センターまでふるってお申込みください。

A講座（初級）

期 間 86年9月～87年2月（6カ月間）
日 時 毎週金曜日、午後6時～7時30分（開講日は9月5日）
会 場 市労連会館4階会議室（川崎駅下車）
講 師 キャサリン・ベイカー氏
テキスト 未 定
受講料 24,000円、一括納入（1カ月4,000円）
受講定員 15名

- ・ 本講座は、英会話初心者を対象とするものです。以前に少し英会話を学びはじめたが挫折したことのある方、もう一度、初級からやってみようと思っ
ている方、カタコトの会話を経験したことはあるがやはり初級からはじめたい方、
こういった方々が対象です。

B講座（中級）

期 間 86年9月～87年2月
日 時 毎週水曜日、午後6時～7時30分（開講日は9月3日）
会 場 川崎教職員会館2階会議室（南武線・向河原駅下車）
講 師 ブレンダ・カークパトリック氏
テキスト 未 定
受講料 24,000円、一括納入（1カ月4,000円）
受講定員 15名

受講申込方法

- (1) 講座受講希望者は、社団法人川崎地方自治研究センター（TEL 244-7610）英会話講座係まで御連絡ください。
- (2) 受講申込受付は、8月21日（木）から開始されます。
- (3) 受付時間は、午前9時～12時、午後1時～5時です。（土曜日は除く）
- (4) 電話申込みにより受講登録された方には当センターより、別途、申込書が送付されますので、必要事項を記入のうえ授業開始日に受講料とともに提出して下さい。

※ なお本年4月から開講されております英会話講座の第一講座（中原先生担当の木曜クラス）および第二講座（中原先生担当の水曜クラス）が9月で終了しますので、それに代わる講座も10月に開講致します。

当ニュース次号で上記2講座の開設要領を発表致します。なおこの2講座のうちどちらかを受講希望の方は、自治研センターまで予め御連絡ください。
（TEL 244-7610）

研究会

自治研センター主催の定例研究会を下記の通り開催致します。酷暑の最中ですが、楽しい議論の場をつくりたいと考えます。友人ともお誘いあわせのうえ御参集ください。

記

日 時 8月19日（火）午後6時～8時
場 所 市労連会館4階会議室
題材本 小田 実著『われ＝われの哲学』（岩波新書、№341、¥480）
司 会 佐藤自治研センター研究員

- ・ 「市民運動のリーダーとして全国・全世界を駆けめぐってきた作家は、いま、社会と人間の新しい見方に到達した。自立した市民の対等な結びつきを象徴する日本語“われ＝われ”。その市民の生きる“場”と“現場”。そして“もの”と“こと”……。空襲体験からアウシュビッツに至る行動と思索を総括して人間の生き方を問う、渾身の書き下ろし。」（本書カバー文より）



読書会

自治研センター主催の「現代文学を読む」会を下記の通り開催致します。出席御希望の方は、対象作品を読了のうえ御気軽に御参集ください。

記

日時 9月16日(火) 午後6時～8時

場所 市労連会館4階会議室

対象作品 井上ひさし著「泣き虫なまいき石川啄木」(『新潮』61年7月号所収)

講師 酒井成美氏(『デルタ』同人)

- ・ 8月の定例会は、諸般の事情により取りやめと致します。
- ・ 9月定例会の作品は自治研センターにて入手できますので、御希望の方は電話(044-244-7610)にてお申込みください。

86年度 川教組総学習会

主催 川崎市教職員組合
後援 川崎地方自治研究センター

「臨教審」による上からの教育改革に反対し、父母・市民・労働者とともに、下からの「国民合意の教育改革」運動を推進すること、新しい学校の創造に向け、自主編成運動を強化し、民主教育の確立をはかること、を基調課題として川教組総学習会の講演会と映画会が下記の通り開催されました。

記

とき 1986年7月28日(月)

ところ 川崎市教育会館大会議室(南武線向河原駅下車、3分)

講演 「諸外国の教育事情」

— 住民参加による教育行政・学校づくりを中心にして —
(講師、海老原治善・東京学芸大教授)

映画 ドキュメンタリー「明日への希望 — 採用と人権」(今なおあとをたたない就職差別をなくすために)

講演 「『川崎市在日外国人教育基本方針』について」

(講師、武田晋一郎・市教育指導主事)

自治研 センターニュース

1986. 8. 30

No. 47

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

教 育

教育改革をめざす学習会

「“教育臨調”に反対し、国民合意の教育改革をめざす市民・労働者学習」と題する学習会が下記の要領で開催されます。

参加御希望の方は当センターまで問い合わせ願います。

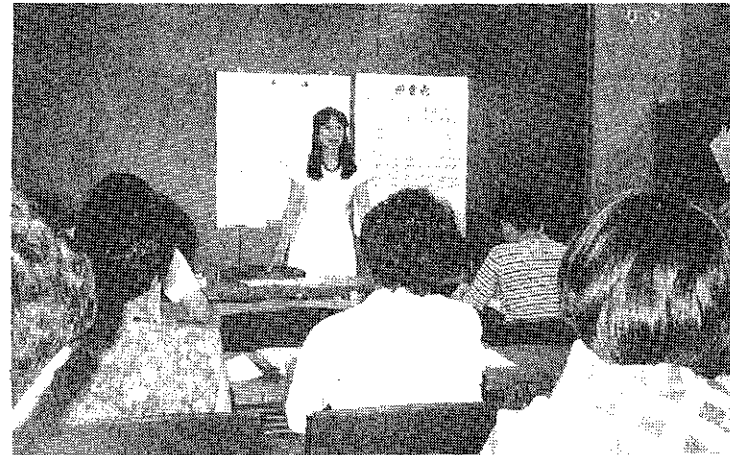
記

名 称	「教育臨調」に反対し、国民合意の教育改革をめざす市民・労働者学習会	
主 催	川崎における市民教育をすすめる市民会議 川崎地方自治研究センター 川崎市教職員組合	
日 程	9月16日(火) 労働会館	
	18日(木) 多摩市民会館	
	19日(金) 中小企業婦人会館	
	ともに午後6時～8時	
内 容	(1)主催者あいさつ (2)講演(臨教審答申の分析・批判) (3)報告(川崎における教育改革のとりくみ) (4)意見交流、その他	
講 師	16日 嶺井正也 (専修大助教授)	
(予定)	18日 黒沢惟昭 (神奈川大教授)	
	19日 斎藤寛 (東洋大講師)	

中国語講座

すでに本ニュースにてお知らせ致しましたように、当センター語学講座活動の拡充の一環として、このたび中国語講座が設置されました。去る7月に受講生募集がおこなわれ、8月第1週から授業がはじまりました。

川崎市が姉妹都市・瀋陽との交流に力を入れていることもあって、開講日には中国語習得に燃える熱心な受講者が16名、猛暑にもめげず出席しました。講座は区建英先生(東大文化研究科博士課程)の御指導のもと、来年1月まで続けられます。



中国語講座授業風景

(受講生より一言)

ニイメンハオ!

●去る8月6日に開講された自治研センターの「中国語講座」は、若さとやる気満々のすばらしい仲間(平均年齢四十五才位)と美人の先生・区建英(Oujian Ying)さんを囲んで和気あいあいのムード……だが、残念ながら「大陸」を中国語で闊歩できるのは遠い夢になりそう。(記・gāo qiáo)

●私の中国語受講の動機は、先生が“中国の方”だとわかったからです。授業のテンポが速くて大変ですが、受講生一人ひとりの発音を聞いて注意して下さる先生なので、きっとコースが終わる頃には「私もきれいな中国語が話せるかしら」と期待しながら、毎週水曜日を楽しみにしています。

(記・Ji yuan)

英会話講座

新規募集案内

すでに恒例となりました自治研センター主催・英会話講座の新規募集を下記の通りおこないます。本ニュース紙上にすでに予告しましたように、姉妹都市ボルチモアからの交換教員としてこのたびブレンダ・カークパトリック先生ならびにキャサリン・ベイカー先生が着任されました。自治研センターの要請を快諾された両先生の御厚意により、下記の4講座を開講致します。御希望の方は、規定をよくお読みのうえ、自治研センターまでふるってお申し込み下さい。

記

A講座

期 間	86年9月～87年2月(6カ月間)
日 時	毎週金曜日、午後6時～7時30分(開講日は9月5日)
会 場	市労連会館4階会議室(川崎駅下車)
講 師	キャサリン・ベイカー氏
テキスト	未 定
受講料	24,000円、一括納入(1カ月4,000円)
受講定員	15名

- 本講座は、英会話初心者を対象とするものです。以前に少し英会話を学びはじめたが挫折したことのある方、もう一度、初級からやってみようと思っている方、カタコトの会話を経験したことはあるがやはり初級からはじめたい方、こういった方々が対象です。
- なお、このクラスは受講者がすでに定員に達しましたので、募集は締め切られました。

B講座

期 間	86年9月～87年2月
日 時	毎週水曜日、午後6時～7時30分(開講日は9月3日)
会 場	川教組会館2階会議室(南武線・向河原駅下車)
講 師	ブレンダ・カークパトリック氏

回 覧

--	--	--	--	--	--

テキスト 未定
受講料 24,000円、一括納入(1ヵ月4,000円)
受講定員 15名

- 本講座は初級よりややすすんだ内容をもつものです。たんに日常的な挨拶や基本文型にとどまらず、そのときどきの話題をめぐって考えるとこころを英語で表現してみたい、といった方のためのクラスです。
- なお、このクラスの受講希望者は定員にまだ達しておらず、若干名の空きがあります。受講御希望の方はお早目にご連絡下さい。

C講座

期間 86年10月～87年3月(6ヵ月間)
日時 毎週木曜日、午後6時～7時30分(開講日は10月2日)
会場 市労連会館4階会議室
講師 キャサリン・ベイカー氏
テキスト 「NHKラジオ統基礎英語」
受講料 24,000円、一括納入(1ヵ月4,000円)
受講定員 15名

- 本講座は、初歩的英会話に取りくむための基本的な知識や文型を習得することを目的としています。
- この講座は、本年4月から開始され9月で終了予定の第1講座(中原先生担当)の継続講座です。テキストも継続して10月より使用します。4月からの継続受講者が優先して登録されますが、若干名の補充ができますので、御希望の方はお申し込み下さい。従来このクラスは受講者数が定員を越えましたが、今後、定員の増員はおこないません。

D講座

期間 86年10月～87年3月(6ヵ月間)
日時 毎週月曜日、6時から7時30分(開講日は10月6日)
会場 市労連会館4階会議室
講師 ブレンダ・カークパトリック氏
テキスト 「NHKラジオ英会話」
受講料 24,000円、一括納入(1ヵ月4,000円)
受講定員 15名

- この講座も本年4月から9月まで開講されている第2講座(中原先生担当)の継続講座です。テキストも継続して10月号より使用されます。
- C講座と同じく、4月からの継続受講者が優先して受講者となりますが、若干名の欠員がありますので、受講希望者はご連絡をお待ちしております。

英会話講座受講申込方法

- (1) 講座受講希望者は、社団法人川崎地方自治研究センター(TL244-7610)英会話講座係まで御連絡ください。
- (2) 受講申込受付は、9月12日(金)から開始されます。
- (3) 受付時間は、午前9時～12時、午後1時～5時です。(土曜日は除く)
- (4) 電話申込みにより受講登録された方には当センターより、別途、申込書が送付されますので、必要事項を記入のうえ授業開始日に受講料とともに提出して下さい。

読書会

自治研センター主催の「現代文学を読む」会を下記の通り開催致します。出席御希望の方は、対象作品を読了のうえ御気軽に御参集ください。

記

日時 9月16日(火)午後6時～8時
場所 市労連会館4階会議室
対象作品 井上ひさし著「泣き虫なまいき石川啄木」(『新潮』61年7月号所収)
講師 酒井成美氏(『デルタ』同人)

- 9月定例会の作品は自治研センターにて入手できますので、御希望の方は電話(044-244-7610)にてお申込みください。

研究会

自治研センター主催の定例研究会が下記の通り開催されます。情報化社会が語られるこんにち、多くの情報を取捨選択し、社会的公正・民主主義・自由の社会をつくるための手立て・行為をおこすには、日常的に着実な思索と努力をおこたってはなりません。

自治研センターは日常的なたしかな社会的な眼を養うための研究会を月例で開催しています。友人とお誘いあわせのうえ、御気軽に御参加ください。

記

日時 9月30日(火)
場所 市労連会館4階会議室
題材本 辻康吾著『転換期の中国』(岩波新書、No.239、¥480)
司会 佐藤・自治研センター専任研究員

- 「1976年秋の毛沢東死去・四人組逮捕を境に、中国は継続革命路線から近代化路線へ転換した。毎日新聞特派員として、1977年春から82年暮まで中国に滞在した著者は、文化大革命と毛沢東評価をめぐる論争や、人民公社制から生産責任制への移行、青年層の不満など、近代化を模索する中国の諸相を最近の資料に基づいて報告する。」(本書カバー文より)

講演会

当センターは、内外のめまぐるしい情勢展開、世界の新しい動向、地方自治の諸問題、市民生活の各分野の重要課題等々の理解を深めるため、定期的に講演会を開催しています。すべての市民に開かれた会合ですので、どなたもふるってご参加ください。

記

日時 9月25日(木)午後3時～5時
会場 川崎市労連会館5階講堂
テーマ 世界の地方自治(その3)
西ドイツの地方自治——その制度と精神
講師 G・ヒールシャー(南ドイツ新聞特派員)

自治研 センターニュース

1986. 10. 15

No. 4 8

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

年次総会

センター第2回総会開催

昨年7月に社団法人として再編されました当川崎地方自治研究センターの第2回総会が去る10月7日に開催されました。

総会においては、1985年度の事業報告および決算報告が提出されるとともに、86年度の事業計画案および予算案が提出され、すべてが滞りなく承認されました。

86年度事業計画としては、従来より継続されている資料の収集とその公開、学習活動（教養講座および語学講座、読書会）、財政白書の作成などの活動の他に、「21世紀を展望した人間都市づくりのための政策立案の基礎資料を得ることを目的」とする「川崎市民の意識調査」の実施、また同じ目的のための「“2001かわさきプラン”政策会議」の推進が注目されます。

これらの事業の成果は、順次会員および市民に公開される予定です。

講演会

チェルノブイリの教訓

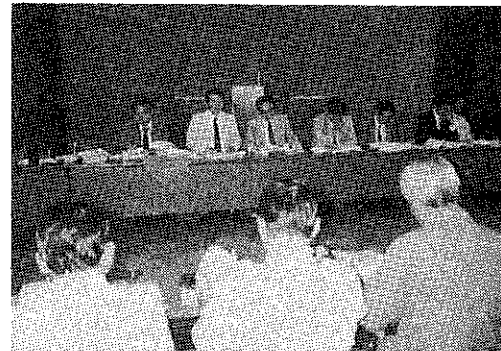
先般のチェルノブイリ原子力発電所の事故は、全世界の人びとに大きな衝撃をあたえました。とくに地理的条件および気象条件も相俟て、ヨーロッパ全域が放射能の汚染を蒙ることとなり、動植物や青鮮食料品の汚染により何億にもものぼる人びとの生命と日常生活そのものが脅威にさらされました。また、この汚染は完全に消え去ったわけではありません。

原子力の平和利用としての原発事故は、原発そのものの意味と問題を私たちの前に改めて提起するものです。この機会に原発問題、原子力の平和利用と私たちの生活の質などを考えてみるべきかもしれません。

今月の講演会では、社会科学の立場から原発問題に取りくんでおられる菅井氏のお話を伺うこととなりました。会員各位のご参加をお願い致します。

記

日 時 10月31日(金) 午後3時～5時
会 場 電公ビル. 3階会議室
テ ー マ チェルノブイリを考える ―原子力文明の陥穽―
講 師 菅井益郎氏 (国学院大学経済学・助教授)



読書会

自治研センター主催の「現代文学を読む」会の10月定例会を下記の通り開催致します。出席希望者は対象本をお読みのうえ、ふるってご参加ください。飛び入りも大歓迎です。

記

日 時 10月21日(火) 午後6時～8時
場 所 市労連会館. 4階会議室
対象作品 小林信彦著『ビートルズの優しい夜』(新潮文庫, No.2864 ¥320)
講 師 酒井成美氏 (『デルタ』同人)

研究会

自治研センター主催の定例研究会が下記の通り開かれます。今回は、私たちの日常生活に欠くことのできないメディアであり、私たちの生活の有力な情報源となっている新聞について考えます。

新聞を有効に使う方法、自分の方法とは異なる読み方が見出せるかもしれません。友人・知人もお誘いのうえ、御気軽にご参加ください。

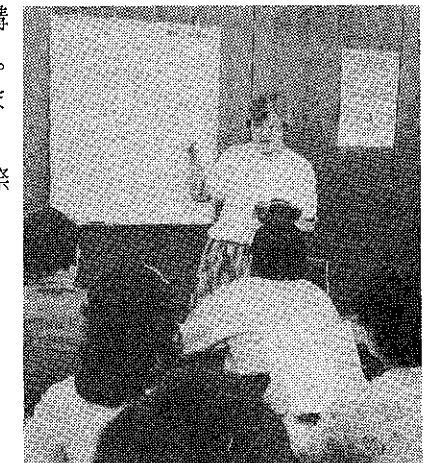
記

日 時 10月28日(火) 午後6時～8時
場 所 市労連会館. 4階会議室
題 材 本 現代新書編集部編『新聞をどう読むか』(講談社・現代新書, No.809 ¥480)
司 会 佐藤・自治研センター研究員
◆ 読書会及び研究会の題材本は当センターでも用意できます。

英会話講座

自治研センターが昨年より主催しております英会話講座は、アメリカの姉妹都市ボルチモアの交換教員(ブレンダ・カークパトリック先生並びにキャサリン・ベイカー先生)をお迎えして新しく9月より2講座(A、B講座)、10月より2講座(C、D講座)を新設しました。すべての講座とも順調に授業がおこなわれております。

受講者の方々が英会話に上達され、公私両面で国際交流に参加できることが期待されます。



ベイカー先生担当のA講座の授業風景

自治研 センターニュース

1986. 11. 15

No. 49

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

講演会

自治体と平和運動

核戦争を防ぎ平和を守ることは、こんにちの人類にとってもっとも重大な課題のひとつでしょう。

川崎市議会は1982年6月、全会一致をもって「川崎市核兵器廃絶平和都市宣言」を採択し、地方自治体にとっても平和の確保が最優先政策のひとつであることをあきらかにしました。川崎市は以来、核兵器廃絶平和都市宣言記念行事をはじめとしてさまざまな平和事業を展開しています。平和活動にかかわる資料や情報を収集して市民に提供することを目的とした「平和資料コーナー」も設けられています。

今回は、この平和資料関係のボランティアとして活躍しておられる上村氏および荻村氏にお話を伺う機会を下記の通り設けました。

多くの方が参会され、平和問題にかんする活発な論議がおこなわれることが期待されます。

記

日時 '86年11月27日(木) 午後3時～5時

場所 いさご会館 中ホール (新館2階)

テーマ 国際化する平和情報

——自治体と平和運動

講師 上村英明氏・荻村哲朗氏 (川崎平和情報センター)

教育講座

川教組連続教育講座開催

川崎市教職員組合主催・川崎地方自治研究センター後援の連続教育講座「子供・青年たちに生きる力を、共に育つ教育を。」が下記の通り開催されます。関心の向きはふらって御参加下さい。

記

第1回 子ども・青年を理解する

～親と教師の教育相談室(神・教文研)より～

講師 菅 龍一氏 (湘南高校定時制教諭・作家)

日時 '86年11月21日(金) 午後3時～4時30分

場所 川崎市教育会館

回覧

第2回 子ども・青年にとって学校は

～これからの学校に期待すること～

講師 岡田守弘氏 (横浜国大助教授)

日時 '87年1月27日(火) 午後3時～4時30分

場所 川崎市教育会館

第3回 地域で育つ子ども・青年

～川崎における社会教育の現状と課題～

講師 岩淵英之氏 (川崎地方自治研センター理事長)

日時 '87年2月下旬(予定) 午後3時～4時30分

場所 川崎市教育会館

読書会

自治研センター主催の「現代文学を読む」会が下記の通り開催されます。これまで題材として小説それ自体をとりあげてきましたが、今回は「短編小説論」を考えてみることになりました。ふるって御参集ください。

記

日時 '86年11月18日(火) 午後6時～7時30分

場所 川崎市労連会館 4階会議室

題材本 阿部 昭著『短編小説礼讃』(岩波新書、No.347、¥480)

講師 酒井成美氏 (『デルタ』同人)

- 題材本は自治研センターで一括購入してありますので、希望者は御連絡ください。
- 「古今東西の短編小説は人生の感動をどう描いてきたか。濃密な文学空間から何を讀みとるか——。“短編びいき”を自認する当代きっての短編の名手が傑作をとりあげ、その醍醐味を伝える。印刷されざる“短い話”こそ原型と語り、古典落語の魅力にふれ、創作の秘密にまで説きこんで、“素晴らしきかな、短編小説!”と結ぶユニークな文学案内。」(題材本カバー文より)

研究会

自治研センター主催の定例研究会を下記のように開催致します。どなたにも開かれた会合ですので御気軽に御参集ください。

記

日時 '86年11月25日(火) 午後6時～7時30分

場所 自治研センター (川崎市労働会館5階 TEL244-7610)

参考本 R.P.ドーア著『貿易摩擦の社会学——イギリスと日本』(岩波新書、No.355、¥480)

- 参考本は当センターで一括購入してありますので、希望者はお申し越してください。
- 今回は通常と会場が異なりますので参加者は御注意願います。
- 「日英間の緊張は何によってもたらされているのか。技術の進歩と伝統的文化との矛盾は避けえないものなのか。核による破壊を防ぐために何が必要か——日本研究家として名高いイギリスの社会学者が、日英関係を中心に、今日のイギリス、そして現代世界が当面している問題を語る。」(参考本カバー文より)

自治研 センターニュース

1986. 12. 15

No. 50

発行責任者 深堀義孝

川崎地方自治研究センター

電話 044 (244) 7610

講演会

スイスの地方自治

自治研センターでは地方自治の拡充の研究の一環として、諸国における地方自治の歴史、制度、考え方等を学ぶ講座を開催しております。すでにアメリカ合衆国、フランス、ドイツの地方自治にかんする講演会を開催してきました。

今回は、阿部汎克氏を講師にお迎えし、スイスの地方自治についてお話しいただく会を企画しました。阿部先生は長年に渡りジャーナリストとして御活躍され、その間スイスでも取材活動を送られました。

スイスはその独特な地方自治の伝統を誇る国です。日本の地方自治を考える立場からも学ぶべき点が多いと思われます。講演会に多くの方が出席され大いに地方自治を論じる場となるよう希望致します。

記

日時 86年12月23日(火) 午後3時～5時

場所 市労連会館(5階講堂)

テーマ スイスの地方自治

——世界の地方自治 その制度と精神(4)

講師 阿部汎克氏(青葉学園短期大学教授)

- 1月定例講演会は、川島令三氏(最近刊行された『東京圏通勤電車事情大研究』の著者)をお迎えして、神奈川県における通勤電車の現状と問題点についてお話を伺います。1月23日(金)の予定です。御期待ください。

読書会

自治研センター主催の「現代文学を読む」会の12月例会、1月例会を下記の通り開催致します。どなたも気軽に御参集ください。

記

日時 86年12月16日(火) 午後6時～7時30分

場所 市労連会館4階会議室

題材本

講師 酒井成美氏(『デルタ』同人)

回覧

記
日時 87年1月19日(月) 午後6時～7時30分
場所 自治研センター(川崎市労働会館5階)
題材本 グリーン著『ヒューマン・ファクター』(早川文庫)
講師 酒井成美氏(『デルタ』同人)

研究会

自治研センター主催の研究会を下記の要領で開催致します。1冊の本を手がかりに自由闊達な論議をおこす場です。どなたもふるって御参加ください。

記

日時 86年12月23日(火) 午後6時～7時30分

場所 自治研センター(川崎市労働会館5階)

参考本 矢野暢・福土昌寿著『日本を変えるシナリオ』(中央公論新書、No.802)

- 「1990年代を迎える日本の進路はいかにあるべきか。戦後40年間の劇的な変化をふまえ、折しも今日、日本が立っている不安定な地点の秘める意味を追求する。本書で扱われているテーマは、本格的な企業社会となった日本、世界を覆い始めた文明としての日本圏の行方、世界都市・東京の機能と役割、普遍言語をもち始めた日本人の生命観、戦後政治の収支決算などと多岐に亘り、改めて“経済大国”という言葉の意味を基底から読み解く。」(本書カバー文より)

記

日時 87年1月26日(月) 午後6時～7時30分

場所 自治研センター(川崎市労働会館5階)

参考本 藤本英夫著『知里真志保の生涯』(新潮社、950円)

講師 上村英明氏(アイヌ文化研究家)

- 「日本列島には、もう一つの世界、つまりアイヌの世界があるが、多くの日本史は、それを古い昔のできごととして扱い、現代の問題としてとらえようとしていない。私は、そういう、なかばかくされた世界というか、かげの世界というか、に生きた人びと、それにかかわりをもった人たちの生と死を追いながら、自分もふくめて人間というものを考えてみたかった。」(著者)

語学講座

中国語講座

当自治研センター主催・語学講座の一環として去る8月に開講されました中国語講座(初級)は、87年1月をもって第1期を終了します。センターでは、この継続として来る2月より第2期の開講を計画しておりますので、受講希望者はお早目に自治研センター(TEL 244-7610)まで御連絡ください。

また中国語を初歩から学びたい方が15名揃った場合には、初歩講座の新設も予定されておりますので、希望者はその旨をお早目にお申し越してください。